

協定実績 2023年度

番号	協定先	実績	協定の種類	担当
1	浜中町	浜中町内の農地、昆布干場、霧多布岬におけるエゾシカ生育状況調査及びエゾシカ侵入防止電気柵の技術改良とアライグマの生育状況調査に関する研究 立木先生(2023年6月1日～2024年3月31日)	地域総合交流	環境共生学類 立木 靖之
2	栗山町	栗山町民講座について小林道准教授あてに3月23日に講演を務められた	地域総合交流	社会連携センター
4	道央農業振興公社	第2回集合研修「農業協同組合を理解する」(6月23日実施)、農業後継者、新規参入研修生(学外13名参加)に農業協同組合の概念・仕組み等を講義した。	地域総合交流	循環農学類 糸山准教授
4	道央農業振興公社	第10期道央農業塾「我が家の経営改善方針」(12月21日実施)。企画・司会等を行った。	地域総合交流	循環農学類 糸山准教授
4	道央農業振興公社	第10期道央農業塾「グループワークによる営農の検討」(1月31日実施)。企画・司会等を行った。	地域総合交流	循環農学類 糸山准教授
4	道央農業振興公社	第10期道央農業塾「農薬・防除について～メーカー・農業者を講師として～」(3月22日実施)。企画・司会等を行った。	地域総合交流	循環農学類 糸山准教授
4	道央農業振興公社	道央農業塾 塾長に循環農学類 糸山准教授が就任し、講義を振興公社職員とともに企画した。	地域総合交流	循環農学類 糸山准教授
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市適応指導教室「すばとけア」より廣瀬教授宛に学生ボランティアの募集について依頼があった	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	2024年度の実施に向けて、ベジチェックを使った住民向けの啓発イベントについて、江別市健康推進室の担当者とは打ち合わせを行い、調整を進めている。	包括連携	食と健康学類 木村講師
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市における健康増進計画の根拠となる「江別市民の食と健康に関する実態調査」を受託研究として実施した。	包括連携	食と健康学類 小林道
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	小林道先生宛に江別市食育推進計画策定委員会委員の推薦依頼があった。	包括連携	食と健康学類 小林道
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	小林道先生宛に江別市学校給食の在り方検討委員会委員推薦依頼があった。	包括連携	食と健康学類 小林道
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別ホルスタインショウへ実行委員会として参加	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	吉田先生宛に令和5年度「えべつ市民環境講座」の実施に係る講師の派遣依頼があった。	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	伊藤先生宛に令和5年度「えべつ市民環境講座」の実施に係る講師の派遣依頼があった。	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	吉田先生宛に令和5年度地球温暖化対策職員セミナーの実施に係る講師派遣依頼があった。	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	ふるさと江別塾にて小八重准教授と山田未知教授が講演を行った。	包括連携	社会連携センター
7	北海道大学	日本中央競馬会畜産振興事業「令和5年度 酪農家飼養環境及びバルク乳成分調査事業」(2023/4/1～2024/3/31)	知財等連携	全学部研究支援課 学務
7	北海道大学	日本中央競馬会畜産振興事業「令和5年度 乳牛の分娩間隔短縮技術実用化・検証事業」(2023/4/1～2024/3/31)	知財等連携	全学部研究支援課 学務
7	北海道大学	学内単独企業説明会(23/6/12,24/2/20)に合計6名参加	知財等連携	全学部研究支援課 学務
8	洞爺湖町	洞爺湖マラソンボランティアとして様々な業務を担当した(5/19～20102名)	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
8	洞爺湖町	洞爺湖マラソンを通じた大学による観光振興の検討(2023/4/1～2023/8/31)	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
8	洞爺湖町	洞爺湖中島におけるエゾシカ低密度管理の実践と洞爺湖における生物多様性保全と自然環境保全の支援に関する研究 伊吾田先生・保原先生・松山先生・立木先生・吉田先生(2023年4月1日～2024年7月31日、洞爺湖中島自然環境再生事業業務)	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
8	洞爺湖町	洞爺湖生物多様性シンポジウムの運営を行い、また学生と共に成果を発表した。シンポジウム後には、役場職員との交流会も行った。(3/1030名)	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
8	洞爺湖町	洞爺湖町まち・ひと・しごと創成有識者会議について吉田教授に推薦依頼があった(2年間)	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
8	洞爺湖町	「洞爺湖町づくり審議会」委員の委嘱依頼があった	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
9	(公財)北海道農業公社	相原先生宛に令和5年度北海道6次産業化サポート事業地域支援検証委員会委員の委嘱依頼があった。	包括連携	全学
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	乳用牛の経済諸形質に関するゲノミック評価値の迅速で正確な算出に関する研究 増田先生(ジェネティクス北海道、2023年1月10日～2023年5月15日)	包括連携	循環農学類 増田准教授
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	生産情報の有機的活用手法の開発に関する研究	包括連携	獣医学類 中田教授
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	中田健先生宛に検定成績表改定に係る検討委員会委員の委嘱依頼があった	包括連携	獣医学類 中田教授

協定実績 2023年度

10	北海道ホルスタイン農業協同組合、 (公社)北海道酪農検定検査協会、 (一社)ジェネティクス北海道	学内単独企業説明会(23.11.17)に1名参加した	包括連携	キャリアセンター
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、 (公社)北海道酪農検定検査協会、 (一社)ジェネティクス北海道	キャリアデザインII講義内でのWEB合企業セミナーへの参加	包括連携	キャリアセンター
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、 (公社)北海道酪農検定検査協会、 (一社)ジェネティクス北海道	北海道ブラックアンドホワイトショウについて協力依頼があり、花摘み隊を派遣した(5/28)	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、 (公社)北海道酪農検定検査協会、 (一社)ジェネティクス北海道	堂地先生より道央地区運営委員の委嘱依頼があった	包括連携	循環農学類 堂地教授
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、 (公社)北海道酪農検定検査協会、 (一社)ジェネティクス北海道	北海道酪農検定検査協会から竹田先生と小泉先生に道産食品独自認証制度専門家審査員の委嘱があった。	包括連携	食と健康学類
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、 (公社)北海道酪農検定検査協会、 (一社)ジェネティクス北海道	岡本英先生と菊先生に2023年度生乳取扱者技術認定講習会の講師依頼があった	包括連携	循環農学類
11	GIS関連団体3社	2023年5月18日～19日に行われたジャパン株式会社主催第20回GISコミュニティーフォーラムの「生物多様性・コンサーベーションGISセッション」において、活動報告を行った。	包括連携	環境共生学類 小川准教授
12	財団法人札幌市公園緑化協会	平岡公園にぎわいフェスタでの体験ブースを出展した。中谷教授および研究室の学生で子供向けつかめる水などの理科実験コーナーを設営に子供たちに体験してもらった。	連携協力	環境共生学類 中谷教授
12	財団法人札幌市公園緑化協会	水質化学研究室学生と教員で計5回、平岡公園内の人工湿地の水文・水質環境調査を受託研究として行った。(2023/7/1～2024/1/17)	連携協力	環境共生学類 中谷教授
12	財団法人札幌市公園緑化協会	百合が原公園のユリ展への出展	連携協力	循環農学類 森志郎准教授
13	滝上町	卒業論文(1件)	地域総合交流	環境共生学類 松山先生
14	北海道情報大学	石井先生宛に生命倫理委員会委員の委嘱依頼があった	大学教育 研究連携	全学
15	標茶町・JA標茶・標茶高校	標茶町・釧路町からの受託研究で海藻給与牛についての研究を実施した。(2023/5/22～2024/2/5)	地域総合交流	循環農学類 泉教授
17	占冠村	ヒグマ・アライグマの調査研究	地域総合交流	環境共生学類 伊藤講師
17	占冠村	第7回 占冠村ヒグマミーティング(1月27日実施)、卒論発表を行った。	地域総合交流	環境共生学類 伊藤講師
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	5月22日 酪農学園大学地域総合交流協定推進協議会へ岩野学長と村松学群長が参加した	地域総合交流	獣医学類 樋口教授
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	佐呂間町教育委員会主催わんぱく教室研修「身近な小哺乳類と皆さんの健康との関係」(I協力:酪農学園大学地域総合交流推進協議会)、7月25日、)に出席した	地域総合交流	獣医学類 浅川教授
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	管理栄養士コース4年生の臨地実習を計5日間受け入れていただいた。行政栄養士業務及び行政の保健活動の体験学習を行った。(11月13～17日)	地域総合交流	食と健康学類 木村講師
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	オホーツクNOSAI(遠軽診療所、湧別診療所、佐呂間診療所)における5年次学生のNOSAI実習(病院実習専修コースの単位に該当)を受け入れていただいた。一方で、本学からは、蹄病・削蹄研修会を実施した(村上先生、石川先生)	地域総合交流	獣医学類 杉浦助教
21	札幌グランドホテル	栽培学実習で栽培に取り組んでいるコールラビ(300～500株)およびアスパラガスを食材として提供する。	包括連携	循環農学類 園田先生
21	札幌グランドホテル	本学の牛乳・乳製品を使用したスイーツをつくる実習(管理栄養士コース42名)	包括連携	食と健康学類 石井教授
22	北海道	7月のハードヘルス学にて道庁職員に特別講義を依頼した	包括連携	全学
22	北海道	動物愛護センター委託事業を受け、運搬輸送、飼育管理、群衛生管理、譲渡会を行政と連携で実施	包括連携	獣医保健看護学類 川添教授
22	北海道	地域保健課からの依頼により、ヘルスサポートレストラン事業の協力として、セミで加盟店に対する啓発ツールの作成を行った	包括連携	食と健康学類 木村講師
22	北海道	リモートセンシングによる地域課題の分析、技術者育成のため研修プログラムの検討を二本の柱とし、研究を行った。その一環として7月26日と9月27日に道職員に対し、ドローン安全講習会を行った。	包括連携	環境共生学類 小川准教授
22	北海道	北海道との協定に基づく取り組みについて、北海道からの成果報告と参加団体(酪農学園大学、北海道立総合研究機構中央農業試験場、北海道土地改良事業団体連合会)からの話題提供、今後の連携方向に関する意見交換を行った。	包括連携	環境共生学類 小川准教授

受託研究委託要請書(23/5/19、24/2/5、24/7/25)に承認された

協定実績 2023年度

22	北海道	学内単独企業説明会(23/6/12,24/2/20,24/31)に合計23名が参加	包括連携	キャリアセンター
22	北海道	石井先生宛に北海道科学技術審議会委員の委嘱依頼があった。(2年間)	包括連携	全学
22	北海道	北海道環境生活部より松田先生宛にエゾシカ病理検査依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道教育庁教職員局教職員課より志賀先生宛に令和5年度北海道・札幌市公立学校教員採用に関する協議会について委員委嘱の依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	GISを活用した地域課題共有手法の最適化研究業務(農政部、2022年6月21日～2023年2月28日)	包括連携	全学
22	北海道	船津先生宛に第10期北海道食の安全・安心委員会特別委員の委嘱依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道生活環境部より佐藤先生宛に令和5年度北海道地域環境学習講座に係るトレーナーの就任依頼があった。(～2023.3.31)	包括連携	全学
22	北海道	北海道保健福祉部長より蒔田先生宛に北海道エキノコックス症対策協議会委員の委嘱依頼があった。(2年間)	包括連携	全学
22	北海道	北海道環境生活部より村松先生宛にエゾシカ肉処理施設認証検討会の構成員の就任依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道教育委員会より廣瀬先生宛に第29期北海道産業教育審議会委員の委嘱依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道環境生活部より伊香田先生宛にエゾシカ肉品質管理のための検討談話会構成員の委嘱依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道環境生活部より佐藤教授宛に令和6年度北海道地域環境学習講座(eco-アカデミア)に係るトレーナーへの就任依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道総合政策部より井上先生宛に令和5年度地域おこし協力隊支援パッケージ事業委託業務の契約手続きに係る学識経験者の意見徴収についての依頼があった	包括連携	全学
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	宮崎先生と中標津農業高校の農産加工研究班がパンを共同開発した	地域総合交流	循環農学類 梶原准教授
24	北海道科学大学	製造した商品を発信していくため、北海道科学大学およびその学生と共同で出来そうなことを検討する打合せを実施(2月28日)	包括連携	食と健康学類 梶原准教授
24	北海道科学大学	100周年寄付事業の取組みや準備方法を参考にする打合せを実施(2月28日)	包括連携	社会連携センター
25	札幌市	札幌市ヒグマ対策委員会に出席(5月31日)	連携協力	環境共生学類 佐藤教授
25	札幌市	札幌市内の森林におけるヒグマの生態調査を実施(2023年4月～12月)	連携協力	環境共生学類 佐藤教授
25	札幌市	札幌市内豊平川河畔林整備活動を実施(8月6日)	連携協力	環境共生学類 佐藤教授
25	札幌市	さっぽろヒグマ基本計画推進協議会委員(12月28日、3月13日)	連携協力	環境共生学類 佐藤教授
25	札幌市	さっぽろヒグマ基本計画推進協議会「ヒグマ対策重点エリア」対策手法検討部会委員(1月12日、3月13日)	連携協力	環境共生学類 佐藤教授
25	札幌市	札幌市内エゾシカ被害防止のための捕獲等に向けた生息状況調査に係る研究(2024/1/4～2024/3/29)	連携協力	環境共生学類 立木教授
25	札幌市	札幌市教育委員会より杉村先生宛に令和5年度札幌市学校給食運営委員会委員の委嘱について依頼があった(2024年7月9日まで)	連携協力	食と健康学類
25	札幌市	森准教授宛に百合が原公園Park-PFI制度に基づく設置等予定者選定に伴う選定委員会委員への委嘱依頼があった。	連携協力	循環農学類
25	札幌市	吉中先生宛に市民動物園園会議委員への委嘱依頼があった。(～2026.9.30)	連携協力	環境共生学類
25	札幌市	郡山先生宛に認定動物園支援事業部会委員への就任依頼があった(～2026.10.31)	連携協力	獣医保健看護学類
25	札幌市	札幌市環境局環境共生担当課よりさっぽろヒグマ基本計画推進協議会委員の委嘱依頼があった	連携協力	環境共生学類
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	道総研重点研究における協力研究機関として「LEDがカーネーションの生育に及ぼす影響」を調査するとともに、現地見学(試験場および生産者圃場見学)を実施した。	連携協力	循環農学類 森志郎准教授
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	傷病鳥獣データを用いた野生動物における感染症流行の影響の推定	連携協力	獣医学類 松山助教
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	令和5年度北海道農業試験会議にて中辻先生宛に講師依頼があった(2024.3.6-8 オンライン)	連携協力	循環農学類 中辻教授
28	北海道ワイン株式会社	ブドウ苗管理作業の指導	包括連携	食と健康学類
29	生活協同組合コープさっぽろ	本学職員12名がコープさっぽろ「仕事改革発表会」を見学した	包括連携	全学
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	2023年度新規採用獣医師にむけて、乳牛の蹄病に関する講義および実習の実施(5/29、6/26、7/24、9/11)	包括連携	獣医学類 村上助教
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	学内単独企業説明会(23/4/18,23/5/12,23/5/15,23/11/29)に合計16名が参加した	包括連携	キャリアセンター
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	令和5年度損害評価会園芸施設共済部会の開催について園田先生に依頼があった	包括連携	循環農学類 園田教授
32	札幌どうぶつ専門学校	札幌どうぶつ専門学校より非常勤講師として林先生・椿下先生・八百坂先生に依頼があった(2023年度末まで)	包括連携	獣医保健看護学類
33	浜頓別町	学生と共に浜頓別町を訪れ、町の子どもたち15名を対象に、環境保全に関する環境教育プログラムを実施した。(8/5～6)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	北海道浜頓別高校総合的な学習の時間において、協定を基にした様々な活動を基にした自然環境に関する講話を実施した(9/20)	地域総合交流	環境共生学類

協定実績 2023年度

33	浜頓別町	北海道浜頓別高校と本学をオンラインでつなぎ、学生がファシリテーターになってオンラインワークショップを実施した(2/9)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	北海道浜頓別高校総合的な学習の時間において1年間実施してきた巡検や講話を基に公庫性が探求学習を行ったが、その発表についての議論に参加した。(3/7)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	浜頓別ジュニアガイドアカデミーの子どもたち15人を招き、本学にて環境教育を実施した。(9/9～10)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	令和5年度北海道浜頓別高等学校総合的な探求の時間における講師派遣について吉田先生に依頼があった	地域総合交流	環境共生学類
34	JA北海道中央会	サポーターづくり優良事例表彰 審査委員(通年)	包括連携協定	循環農学類 糸山准教授
34	JA北海道中央会	JAカレッジへ申し込みのあったJA職員にたいし、ドローンのきそ、農業散布ドローンの座学、飛行体験を実施した。2日目は、大学PCルームにてドローンの画像を用いた画像解析講習を行った。	包括連携協定	環境共生学類 小川准教授
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	北海道コカ・コーラボトリング株式会社から提供された『お茶製品製造過程で出る茶粕』を活用したエコフィードを給与した肉用牛を『イオン道産デー』(5月19～21日)で販売。	包括連携	社会連携センター
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	茶粕のエコフィード化に関する研究 西寒水先生・山田(未)先生・土井先生(2021年5月1日～2024年3月31日)	包括連携	社会連携センター
36	株式会社サングリン太陽園	園芸学実習において、北海道におけるスマート農業の取り組みについてご説明していただき、ドローンのテスト飛行なども実演していただいた。	包括連携	農食環境学群
36	株式会社サングリン太陽園	10/19、20、21、11/16の4日間で行われたGIS Day in 北海道 2023の講習会としてサングリン太陽園と共催し、ドローンを飛行させるために必要な航空法等の知識、機体の飛行設定等、また、飛行時には何が必要となるか問うの知識を参加者へ提供した。	包括連携	環境共生学類 小川准教授
36	株式会社サングリン太陽園	人工衛星データを利用した広範囲の資料作物の生育状況客観的に把握し、省力モニタリングモデルの構築、ピンポイント防除の請負サービスを組み込んだ減農薬かつ早期草地管理方法の確立を目指し、共同で研究を行った。牧草地およびデントコーン圃場のドローン・オルソモザイク画像を行った。	包括連携	環境共生学類 小川准教授
36	株式会社サングリン太陽園	農林業者向けドローン講習会(酪農大 ページックコース)共催を学内職員1名、学外者1名に行った。	包括連携	環境共生学類 小川准教授
36	株式会社サングリン太陽園	学内単独企業説明会(23/4/6,23/6/7,23/11/13,24/3/11)に合計13名が参加した	包括連携	キャリアセンター
36	株式会社サングリン太陽園	キャリアデザインⅠ 講義内でのWEB合同企業セミナーへの参加	包括連携	キャリアセンター
38	農林水産省北海道農政事務所	北海道農政事務所より担当官を招いて、国が進める「みどりの食料システム戦略」の説明会を実施。大学が申請できる可能性のある補助事業等について理解を深めた。	包括連携	情報政策局
39	八紘学園	八紘学園の職員研修として乳製品実習室にて受け入れた	包括連携	農食環境学群
39	八紘学園	八紘学園の生徒25名を乳製品実習室にて受け入れた	包括連携	農食環境学群
39	八紘学園	八紘学園の生徒3名の研究レポートの実験支援協力	包括連携	獣医学類 杉浦助教
39	八紘学園	農業ドローン基礎講習会では、初心者向けにドローンを安全に利用するための基礎知識、放棄、農業散布等を座学で学ぶとともに、実習で飛行経験10時間を積んで操縦技術を習得する。また農業向けにドローンの利活用方法を学習するために、リモートセンシング技術の基礎、農業におけるドローンの活用事例を座学で学び、農地における操縦法自動飛行技術の実習を行い、さらに習得した技術の解析方法、利活用について学習した。	包括連携	環境共生学類 小川准教授
39	八紘学園	2023年度の非常勤講師として、杉浦先生・安藤先生・森志郎先生・阿部先生・義平先生・西寒水先生宛に依頼があった(2024年3月31日まで)	包括連携	全学
39	八紘学園	堂地先生に2023年度第88回北海道農業専門学校 卒業式来賓祝辞依頼	包括連携	全学
40	菊田食品	廃棄される豆腐等を回収して堆肥を製造し、畑に散布した。2023年度の回収量は約10t。	包括連携	循環農学類 飛谷准教授
40	菊田食品	菊田食品 とうふ工房 菊の家 に訪問。豆腐の製造工程の見学をした。(6/16 学生7名 10/23 学生5名)	包括連携	循環農学類 岩崎講師
40	菊田食品	本学の実習授業において、郷社長に豆腐の製造および会社の取り組み等についての講義をしていただいた。食べ比べも実施。(履修学生40名)	包括連携	循環農学類 岩崎講師
40	菊田食品	おからを提供いただき、薄力粉を50～68%おからに置き換えた健康志向の菓子(スコーン)の商品開発に利用。スコーンの試作品にアドバイスやコメントをいただき、パン屋(江別市、あきのわパン工房)での販売に向けて商品化を予定。	包括連携	食と健康学類 杉村准教授
40	菊田食品	学内FEDREC作物生産ステーション圃場でダイズ・アズキ・インゲンマメを生産した時に、産出する研究副産物(ダイズ・アズキ・インゲンマメの子実)を無償提供。ダイズについては、きなこ、きなこねじり、豆腐に加工して、菊の家4店舗で販売。アズキ、インゲンマメについては、丸粒のまま、販売。ダイズの販売実績(2023年4～2024年3月)は、200gのきなこねじり190円が3,895袋(740,050円)、100gのきなこねじりが120円×2,157袋(258,840円)販売し、合計で約100万円となる。	包括連携	循環農学類 義平教授
40	菊田食品	ブタ飼料のタンパク質源として、週5日程度、廃棄される豆腐等を回収し、ブタの飼料を調製・給与した。	包括連携	循環農学類 山田未知教授
41	株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント	ドッグラン施設の運営・管理	包括連携	獣医保健看護学類 川添教授
42	イオン北海道株式会社	酪農学園フェア(12月1～3日)をイオン江別店で実施。バター、チーズなどの乳製品のほか、短角牛のお肉、豚肉、ベーコン、ソーセージ、お米など本学園の商品を販売。ヒンメリ作り体験も実施。	包括連携	社会連携センター
42	イオン北海道株式会社	実験資材の回収方法および頻度等に関わる打合せ	包括連携	循環農学類 石川准教授
42	イオン北海道株式会社	キャリアデザインⅠ 講義内でのWEB共同セミナーへの参加	包括連携	循環農学類 石川准教授
42	イオン北海道株式会社	イオン江別店から消費期限切れで商品とならなくなったパンを回収して肥育豚用の飼料を調製する。また、生産され豚肉については、イオン北海道株式会社で販売を行う。	包括連携	循環農学類 山田未知教授